



2022年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2022年10月14日

上場会社名 株式会社 ブロンコピリー

上場取引所 東名

コード番号 3091 URL <https://www.bronco.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 竹市 克弘

問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 成長戦略室長 (氏名) 古田 光浩

TEL 052-856-4129

四半期報告書提出予定日 2022年10月25日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年12月期第3四半期の業績(2022年1月1日～2022年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年12月期第3四半期	14,446	30.6	554		811	31.6	548	29.7
2021年12月期第3四半期	11,061	12.6	375		1,187		779	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年12月期第3四半期	36.79	36.70
2021年12月期第3四半期	51.70	51.58

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年12月期第3四半期	21,432	17,735	82.4	1,188.10
2021年12月期	26,871	17,962	66.5	1,185.93

(参考)自己資本 2022年12月期第3四半期 17,650百万円 2021年12月期 17,881百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年12月期		6.00		10.00	16.00
2022年12月期		8.00			
2022年12月期(予想)				8.00	16.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年12月期の業績予想(2022年1月1日～2022年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	26.8	900		1,200	22.5	800	16.2	53.73

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年12月期3Q	15,079,000 株	2021年12月期	15,079,000 株
期末自己株式数	2022年12月期3Q	222,567 株	2021年12月期	1,011 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年12月期3Q	14,899,055 株	2021年12月期3Q	15,077,989 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等につきましては、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(会計方針の変更)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間（自2022年1月1日至2022年9月30日）におけるわが国経済は、行動制限が解除され、新型コロナウイルス感染症の再拡大の影響を受けながらも社会経済活動が緩やかに再開した一方で、ロシア・ウクライナ情勢長期化による資源価格の高騰、円安の進行など、依然として先行き不透明な状況になっております。

外食産業におきましても、コロナ禍での生活習慣の変化で夜間利用の戻りは依然鈍く、さらに資源価格や原材料の仕入価格の高騰、人件費の上昇等により厳しい状況が続いております。

こうした状況下ではありますが、お客様と従業員の安心・安全を第一に、引き続き感染対策を講じながら、「ご馳走カンパニー」のコンセプトを実現する店づくりを目指し、取り組んでまいりました。

商品面では、7月に「怒涛のスタミナ祭」でラム肉をコンビメニューとして初めて提供、8月に品質の高いニュージーランド産のブランド牛「オーシャンビーフステーキ」を提供いたしました。さらに9月は霜降り濃厚な味わいのアメリカ産リブロースを使用した「炭焼きファイブスターリブロースステーキ」を期間限定販売するなど、過去の取り組みの中で社内評価が高かった肉原料をできるだけ調達し、期間限定の高付加価値メニューとして投入し、いずれも大変ご好評をいただきました。

また、プチ贅沢シリーズとして7月に2種類のフルーツティー「台湾レモンティー」と「マンゴー&苺ティー」を販売いたしました。更にこれまで関東・関西地区限定だったプチ贅沢スープをブロンコビリー全店で提供できる生産体制を整え、9月からはプチ贅沢スープ「ポルチーニ香るきのこポタージュ」を東海地区でも販売開始いたしました。また夏のサラダバーでは、すいかの名産地である長野県松本市でブランドすいかとして限定栽培されている「JA松本ハイランドすいか」をディナータイム限定で、秋のサラダバーでは、かぼちゃや柿、和梨など、秋の食材をふんだんに使用して季節限定で提供しております。

販促面では、自社アプリ「ブロンコマイスタークラブ」において、期間限定メニューのタイムリーな配信、ポイント3倍の「週末ハッピーマイスター」、毎月29日の「肉の日」クーポンなどを継続実施する一方で、「野菜の日スクラッチ」や「敬老の日クーポン」の配布、「キッズクラブ夏祭り」開催などの季節イベントを通して、コア顧客層の再来店を促す取り組みを強化し、着実に実績を積み上げております。

店舗運営では、刷新した新基幹システムを活用した来客予測に基づくワークスケジュールと発注管理により生産性向上と食材ロス削減に継続して取り組みました。また、新商品等の推奨販売で客単価アップに取り組みながら、地域・店舗ごとに営業時間の見直しを行い、収益改善に取り組んでおります。ドリンクバーに常備していた使い捨てプラスチック製ストローを廃止し、CO2削減に効果のある環境に優しいバイオマス素材のストローに変更するなど、お客様のご協力のもと、サステナブルな未来を目指す取り組みも進めております。

店舗開発では、7月に岐阜正木店（岐阜県）、9月に籠原店（埼玉県）と九州地区出店の第1号店となる大野城御笠川店（福岡県）を開店しました。その結果、「ブロンコビリー」133店舗、「とんかつ かつひろ」1店舗の合計134店舗となりました（2022年9月末日現在）。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は144億46百万円（前年同期比30.6%増）、営業利益5億54百万円（前年同期営業損失3億75百万円）、経常利益8億11百万円（前年同期比31.6%減）、四半期純利益5億48百万円（前年同期比29.7%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期会計期間末の資産合計は214億32百万円（前事業年度末268億71百万円）となり54億38百万円減少いたしました。その主な要因は、借入金の返済等により流動資産の現金及び預金が57億69百万円減少したこと等によりです。

（負債）

当第3四半期会計期間末の負債合計は36億96百万円（前事業年度末89億8百万円）となり52億11百万円減少いたしました。その主な要因は、借入金51億25百万円減少したこと等によりです。

（純資産）

当第3四半期会計期間末の純資産合計は177億35百万円（前事業年度末179億62百万円）となり2億26百万円減少し、自己資本比率は82.4%（前事業年度末66.5%）となりました。その主な要因は、四半期純利益の計上による増加と配当金の支払い等により利益剰余金が2億78百万円増加した一方、自己株式の取得等により5億4百万円減少したこと等によりです。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2022年4月15日の「2022年12月期 第1四半期決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2021年12月31日)	当第3四半期会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,619,862	6,850,115
売掛金	729,246	658,288
商品及び製品	98,178	83,738
原材料及び貯蔵品	309,307	370,321
その他	512,198	305,882
流動資産合計	14,268,793	8,268,346
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	5,869,526	5,949,257
構築物（純額）	651,045	684,746
工具、器具及び備品（純額）	556,217	597,014
土地	2,724,457	2,724,457
その他（純額）	100,335	154,255
有形固定資産合計	9,901,583	10,109,732
無形固定資産	291,220	261,917
投資その他の資産		
関係会社株式	-	121,163
関係会社長期貸付金	-	241,600
長期預金	1,000,000	1,000,000
差入保証金	1,026,455	1,063,923
その他	383,094	365,706
投資その他の資産合計	2,409,550	2,792,392
固定資産合計	12,602,353	13,164,041
資産合計	26,871,147	21,432,387
負債の部		
流動負債		
買掛金	530,988	568,795
短期借入金	47,336	166,674
1年内返済予定の長期借入金	5,199,992	348,000
リース債務	18,750	21,150
未払金	938,199	935,187
未払法人税等	576,674	101,818
契約負債	58,705	78,522
賞与引当金	43,286	173,832
販売促進引当金	79,107	69,271
その他	220,422	389,480
流動負債合計	7,713,462	2,852,732
固定負債		
長期借入金	600,016	207,000
リース債務	225,591	256,578
資産除去債務	356,333	367,252
その他	13,043	13,043
固定負債合計	1,194,984	843,874
負債合計	8,908,446	3,696,606

(単位：千円)

	前事業年度 (2021年12月31日)	当第3四半期会計期間 (2022年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,210,667	2,210,667
資本剰余金	2,120,664	2,120,596
利益剰余金	13,526,712	13,805,166
自己株式	△1,801	△506,753
株主資本合計	17,856,242	17,629,677
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	25,177	21,270
評価・換算差額等合計	25,177	21,270
新株予約権	81,281	84,834
純資産合計	17,962,700	17,735,781
負債純資産合計	26,871,147	21,432,387

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)
売上高	11,061,780	14,446,842
売上原価	3,367,951	4,671,403
売上総利益	7,693,829	9,775,438
販売費及び一般管理費	8,069,073	9,221,080
営業利益又は営業損失(△)	△375,243	554,357
営業外収益		
受取利息	3,920	4,049
受取配当金	1,799	2,346
受取賃貸料	30,635	30,155
助成金収入	1,516,959	237,068
その他	39,740	21,796
営業外収益合計	1,593,055	295,417
営業外費用		
支払利息	7,560	3,599
賃貸費用	18,062	18,113
その他	5,151	16,266
営業外費用合計	30,774	37,979
経常利益	1,187,037	811,795
特別利益		
受取保険金	-	86,141
固定資産売却益	-	700
補助金収入	28,202	-
特別利益合計	28,202	86,841
特別損失		
固定資産除売却損	3,746	16,448
減損損失	11,879	-
店舗休止損失	30,137	2,421
火災損失	14,169	-
特別損失合計	59,933	18,870
税引前四半期純利益	1,155,307	879,767
法人税、住民税及び事業税	391,841	324,262
法人税等調整額	△16,059	7,418
法人税等合計	375,781	331,681
四半期純利益	779,525	548,086

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2022年2月10日開催の取締役会決議に基づき、自己株式230,000株の取得を行いました。この結果、当第3四半期累計期間において自己株式が524,170千円増加し、当該取得等により、当第3四半期会計期間末において自己株式が506,753千円となっております。

（会計方針の変更）

（時価の算定に関する会計基準等の適用）

「時価の算定に関する会計基準」（企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。）等を第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」（企業会計基準第10号 2019年7月4日）第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。当該会計基準等の適用が四半期財務諸表に与える影響はありません。